

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	「国語総合」に関しては3年間を見通し、2，3年次で学習する「現代文B」にスムーズに移行できる教科書を選定した。「国語表現」はより実践的に表現活動に取り組めるものを選定した。「現代文B」は1年次で使用した「国語総合」の継続性を重視して選定した。「古典A」については本校の生徒の実態に即し、分量や程度を重視して選定した。
	地理歴史	一単元が見開きで構成され、図や写真が豊富で生徒にとって読みやすく、程度が生徒の実態に即し適当であることから選定した。
	公民	内容が系統的であり、配列も身近な生活から始まり、最終的に国際社会で終わるなど進めやすく、関連付けも適切で分量もよいことから選定した。
	数学	提示された例題が適切で、練習問題も基本的なものであるので本校の生徒の実態に適していることから選定した。
	理科	図や写真が多く、文章表現が分かりやすい。程度が本校の生徒の実態に即していることから選定した。
	保健体育	内容が教科・科目の目標に適合しており、見開きで構成されており進度が計画しやすい。またグラフ、写真等もカラーで分かりやすく、文字の量とのバランスも良いことから選定した。
	芸術	音楽、美術、書道、工芸ともに分野の扱い方のバランスがよく、使いやすいことから選定した。
	外国語	主に英文の難易度、文量、ページの構成、題材という観点に立ち教科書を比較検討した結果、概念的な内容をイラストを用いるなどして、分かり易く説明ができるよう工夫された教科書を選定した。
	家庭	最低限の資料（食品成分表等）も掲載されており使いやすいうえに、内容構成に創意工夫があり、本校生徒の実態に即していることから選定した。
	情報	内容が教科・科目の目標に適合し、実習と理論が分かれていて、扱いやすいことから選定した。
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	図表が豊富で詳しく、内容が科目の目標に適合しており、程度も本校生徒の実態に即しており、適当であることから選定した。
	工業	
	商業	図表・資料などがわかりやすく、生徒が興味を持ちやすいことから選定した。
	水産	
	家庭	「ファッション造形基礎」「子ども文化」は他の教科書がないため、選択の余地はない。「子どもの発達と保育」については図表、資料等がわかりやすく、生徒が興味関心を持って読めること、内容が生徒の実態に即していることから選定した。
	看護	
	情報	「情報デザイン」については他の教科書がないため、選択の余地はない。本校の生徒にとって分量も適切である。
	福祉	他の教科書がないため、選択の余地はない。図表が鮮明でわかりやすい。